

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和4年 7月 28日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市東神足2-1-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三菱ロジスネクスト株式会社 代表取締役社長 間野 裕一
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001：2015/JIS Q 14001：2015
適 用 範 囲	三菱ロジスネクスト株式会社 本社・京都工場、滋賀工場、安土工場、羽生工場、 東京事務所、オンサイト研修センター、ロジネクストハンドリン グシステムズ
導 入 年 月 日	2005年 9月 16日
認 証 番 号	JQA-EM4909
基 本 方 針	添付のとおり（環境マネジメントマニュアル抜粋）
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2021年度から2023年度の3か年目標（環境目標）を次のように定めた ・環境活動を事業活動のひとつとして位置づける ・環境に配慮した製品づくりを行う ・製品使用によるCO2の削減貢献量の算出方法や基準を定め、情報開示を行う ・グリーン調達を促進 ・2023年度の廃棄物排出量原単位を、2020年度比で1%改善する（重量/売上） ・2023年度の国内のVOC排出量原単位を2020年度比で改善をする（重量/売上） ・環境啓蒙活動を積極的に行う ・2023年度のCO2排出原単位を2020年度比で3%改善する ・2023年度の水使用量原単位を2020年度比で1%改善する ・製品/部品輸送で発生するエネルギー、廃棄物について原単位で前年度より改善する
目標を達成するための取組の内容	・MLグループ内の「環境内部監査」での指摘事項に対する改善 ・MLグループ会社の環境活動のレベルの向上 ・開発車の製品使用時のCO2排出量を前モデルより削減する ・製品に含まれる環境負荷物質低減推進 ・有価物、古紙を除く廃棄物排出原単位当たりで改善する ・VOC排出量原単位を2017年度比改善する ・地域貢献活動への積極参加 ・環境保全コストの把握及び社内周知 ・エネルギー、水使用量原単位を改善する ・VOC排出量削減のための設備投資の検討 ・廃パレット、梱包材の重量を売上高単位で削減 ・通い箱化率の向上
目標を達成するための取組の進捗状況	・MLグループ内の環境内部監査、環境パトロールを行い啓蒙と推進を図る ・製品使用時CO2排出量の算出基準のドラフト版を正式基準化する ・SVHC調査の実施率の見える化と実施指導 ・電子マニフェストの管理方法の統一化 ・低減に寄与した設備投資の実施 ・漏水の早期発見と修理の実施 ・木製パレットの再利用と簡易梱包の推進、梱包材の再利用
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・MLグループ内の環境監査、環境パトロール実施により環境意識が向上 ・CO2排出算出基準検討継続 ・SVHC調査表未提出分の継続依頼 ・廃棄物排出の分別の促進 ・設備投資の現実化と継続 ・水道、電気の点検修理の実施 ・木製パレット、樹脂パレットの再利用の促進
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規制登録簿を作成し、毎年、順法性評価を行うとともに、適宜、法規制登録簿の見直しを実施している。 行政当局からの違反の指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、年1回、3月にマネジメントレビューを実施している。 前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用することとした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。